

海のおちらのおくにから よくマア、一人できましたね、 (青い目の人形、成東小学校へ)

昭和二年一月より次々と日本に届けられた青い目の人形は、三月三日、東京青年館で盛大な歓迎会で迎えられた後、全国の幼稚園や小学校に送られたという。

その一体、アリス＝プレールちゃんを本校に迎え入れた日がいつだったか定かではないが、当時、本校の子どもたちが送った「アメリカの皆さんへ」とする礼状から昭和二年五月五日にプレールちゃんら歓迎会が催されたことがわかり、迎え入れた日は、この日からそれほど離れない日

だったと思われる。

取材では正門から校舎までを、子どもたちが並んで拍手で迎え入れたと記憶する方もあり、大歓迎であったことがうかがえるのだが、さて、この歓迎会とはどのようなものであったか、その礼状から取り出してみよう。



アリス＝プレールちゃん

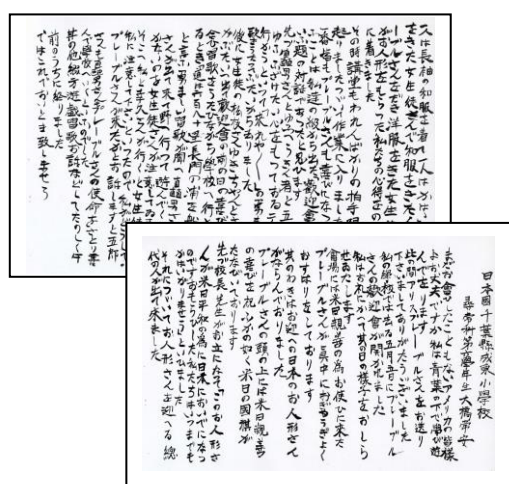
・(講堂舞台の) 中央にプレールちゃんが行儀よく座り、その(両)わきを、お迎えの日本のお人形が並んでいます。そして、その頭上には、アメリカと日本の国旗がかかげられていました。

※講堂とは右側校舎の高等科等の数教室を臨時的に通したもので、お人形は、ひな段に並べられたものと想像する。

・まず校長先生が、お話されます。
「この人形さんは、アメリカと日本の平和のために、日本においてになったのですから、お迎えした私たちは、いつまでも可愛がつていきましよう。」

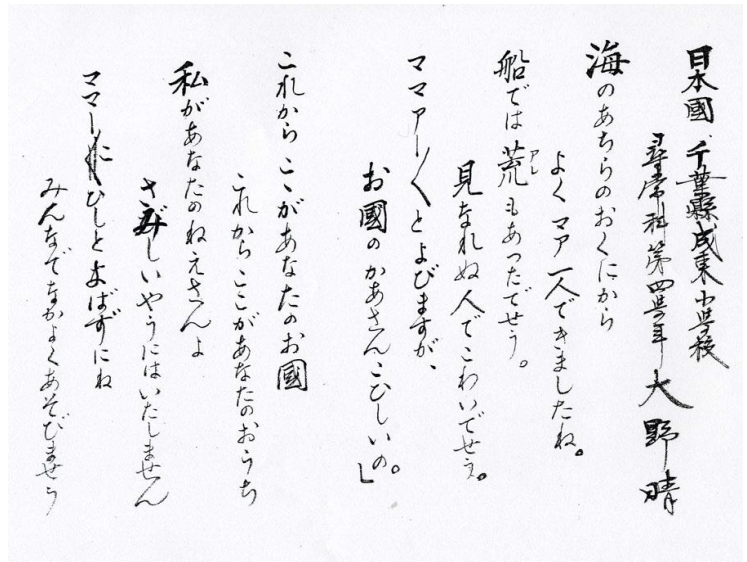
・次に生徒を代表して二人の女生徒が出、一人は和服姿でプレールちゃんをだき、今一人は可愛い洋服姿でお人形を迎えた私たちの心得を述べました。すると、会場はわれんばかりの拍手喝采であふれたものです。

・その後、何人かの生徒による劇や唱歌等の発表があり、楽しい午前の一時となりました。

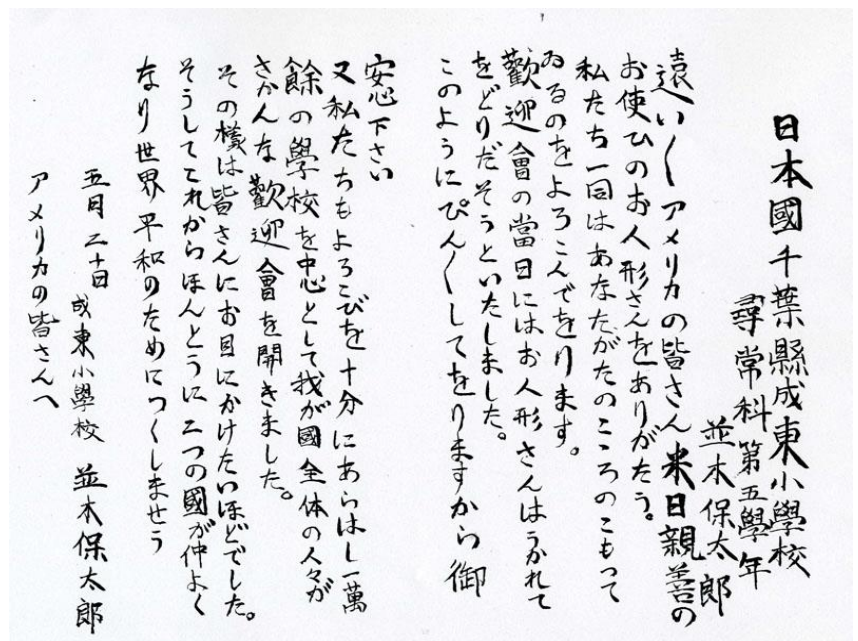


礼状 大橋 常安さん

その二年後の昭和四年五月十日に開催された学芸会プログラムが残されている。このプログラムには「お人形おまつりの日」と題字に並んで書かれており注目される。というのも、プレールちゃんを迎え入れた日を記念して長く行事が持たれていたことを、うかがわせるからである。こうした子ども達の温かい思いも、昭和十六年の太平洋戦争突入により、敵国の人形という不幸な時がおとずれるのである。



礼状 大野 晴さん



礼状 並木 保太郎さん

